

## 2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52106	教育原理 Pedagogy	服部壮一郎		共通	2	必修	1年後期
<b>科目の概要</b>							
この授業では教育という営みの歴史と思想に関する知識・情報を獲得することによって、それらを現代における教育に関する問題に応用し、解決する力を身につける。具体的には、①自分の教育観を見つめ直すこと、②子どもが楽しめる設定保育を考えること、③学校教育をめぐる問題について考えることによって、自分がこれまで受けてきた教育の意味を問い直し、自分なりの教育の理想像を思い描く力を身につける。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 教育の歴史と人間の発達観について学ぶ。 ② 先人の教育思想と教授法について学ぶ。 ③ 日本における公教育の制度と実践について学ぶ。 ④ 現代における教育に関する問題について考える。				① 自分の教育観を文章にまとめることができる。 ② 先人の教育思想や教授法を説明することができる。 ③ 設定保育を考案し、発表することができる。 ④ 教育に関する問題に対する自分の考えを文章にまとめることができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	学習成果の発表に主体的に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	授業で学んだ内容を発表に取り入れることができる。					
考え抜く力	課題発見力	学校教育の課題について自分なりの考えを持つことができる。					
	計画力						
	創造力	先人の教育思想や教授法をもとに遊びを創造することができる。					
チームで働く力	発信力	自分の意見を文章にして分かりやすく伝えることができる。					
	傾聴力	静かに集中して話を聞き、要点をつかむことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：勝野正章・庄井良信『問いからはじめる教育学 [改訂版]』有斐閣、2022年。							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：教育制度論、保育原理 資格との関連：幼稚園教諭二種、保育士、准学校心理士							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
固定観念にとらわれず、講義で学んだことをもとに、自由な発想で自分の考えを持つこと。				授業は集中して聞き、疑問がある時は積極的に質問すること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
			④		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
			④		
	レポート	60	①	✓	
			②	✓	
③			✓		
④			✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①			
		②	✓		
		③	✓		
		④			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>到達レベルS(秀)：優(A)の到達レベルに加え、社会人基礎力を習得できている。</p> <p>到達レベルA(優)：教育の歴史や先人の教育思想を十分に理解し、それをもとに自分の教育観を明確化できる。さらに、学校教育をめぐる現代的課題に対する自分なりの考えを述べることができる。</p>	<p>到達レベルB(良)：Aには達しないものの、教育の歴史や先人の教育思想を理解し、自分の教育観を自分の言葉で表現できる。また、理想的な幼児教育の姿を自分なりに描くことができる。</p> <p>到達レベルC(可)：Bには達しないものの、教育の歴史や思想を理解し、自分の教育観を述べるができる。また、日本における幼児教育の特徴を述べるができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業のねらいと内容、進め方、評価について理解する。「教育」という言葉の原義について知る。	講義 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	教育という言葉の成り立ちを理解できる。	(予習) シラバスを事前に読んでおく。	90	傾聴力 規律性
2	教育の原理(1):人間の可塑性と可能性	講義 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	人間の可塑性と可能性とは何かを理解できる。	(予習) テキスト3～14ページを読んでおく。	180	傾聴力 規律性
3	教育の原理(2):教育の社会的機能について	講義 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	教育と社会・文化との関係について理解できる。	(予習) テキスト16～25ページを読んでおく。	180	傾聴力 規律性
4	教育の原理(3):「子どもの発見」について	講義 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	ルソーによる「子どもの発見」の意義を説明できる。	(予習) テキスト29～42ページを読んでおく。	180	傾聴力 規律性
5	教育思想・教授法(1):教科中心カリキュラムによる教授法	講義・演習 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	コメニウス、ヘルバルトらの教育思想を知る。	(予習) テキスト48～52ページを読んでおく。 (復習) 配布した資料を読み返し、内容を理解する。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
6	教育思想・教授法(2):子ども中心カリキュラムによる教授法	講義・演習 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	ルソー、ペスタロッチらの教育思想を知る。	(予習) テキスト52～57ページを読んでおく。 (復習) 配布した資料を読み返し、内容を理解する。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
7	教育思想・教授法(3):日本の公教育の歴史と思想	講義 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	日本の幼児教育の特徴を理解できる。	(復習) 配布した資料を読み返し、内容を理解する。	180	傾聴力 規律性
8	日本における保育実践(1):設定保育と自由保育	講義・グループ討議 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	設定保育と自由保育の特徴を理解できる。	(復習) 授業で学習した内容をもとに、遊びの重要性に関する発表の準備に取り掛かる。	180	主体性 実行力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	日本における保育実践(2)：遊びに関する調べ学習	グループ討議 発表準備に関する相談	遊びの重要性に関する発表を準備できる。	(復習) 発表準備を進める。	180	主体性 実行力 創造力
10	日本における保育実践(3)：遊びの重要性に関する発表	講義・発表 発表内容について講評し、フィードバックする。	遊びの重要性に関する学習成果を発表できる。	(予習) 発表に向けて準備する。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
11	現代教育の課題(1)：教育の機会均等について	講義・グループ討議 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	インクルーシブ教育について知る。	(予習) テキスト63～70ページを読んでおく。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
12	現代教育の課題(2)：ジェンダーを学ぶカリキュラム	講義・グループ討議 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	顕在的・潜在的カリキュラムについて知る。	(予習) テキスト109～113ページを読んでおく。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
13	現代教育の課題(3)：道徳は何のためにあるのか	講義・グループ討議 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	道徳教育の歴史と問題点について知る。	(予習) テキスト113～117ページを読んでおく。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
14	現代教育の課題(4)：生涯学習・社会教育とは何か	講義・グループ討議 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	社会教育・生涯学習の歴史と現代的意義について知る。	(予習) テキスト162～171ページを読んでおく。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
15	講義のまとめ レポートの作成方法について	講義	教育の原理や学校教育の現代的課題を学ぶことの意義が分かる。	(復習) 学習した内容を整理し、最終レポートを作成する。	270	傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力